

室蘭工業大学地域共同研究開発センターニュースレター No.26

雑誌名	室蘭工業大学地域共同研究開発センターニュースレター
巻	26
発行年	1996-03
URL	http://hdl.handle.net/10258/00009249

国際ワークショップ
ソフトウェア・コンピューティング '96
— 産業への応用 —

特別講演

講演題目: Soft Computing—Methodologies for the Conception, Design,
and Deployment of Intelligent Systems.

講演者: L. A. ザディー教授 (カリフォルニア大学バークレー校)

講演題目: Chaotic Dynamics and Neural Computation.

講演者: 合原一幸助教授 (東京大学)

特別講演日時: 4月27日(土) 15時~17時

特別講演料: 無料、但し申込必要 (定員50名)

主催: (社)電気学会 (産業システム情報化技術委員会)、室蘭工業大学

後援: 室蘭市、北海道

一般講演日時: 4月27日(土)~4月28日(日)

一般講演会費: 一般1万円、学生5千円

両講演の場所: 室蘭港エンルムマリーナ (室蘭市絵鞆町4丁目)

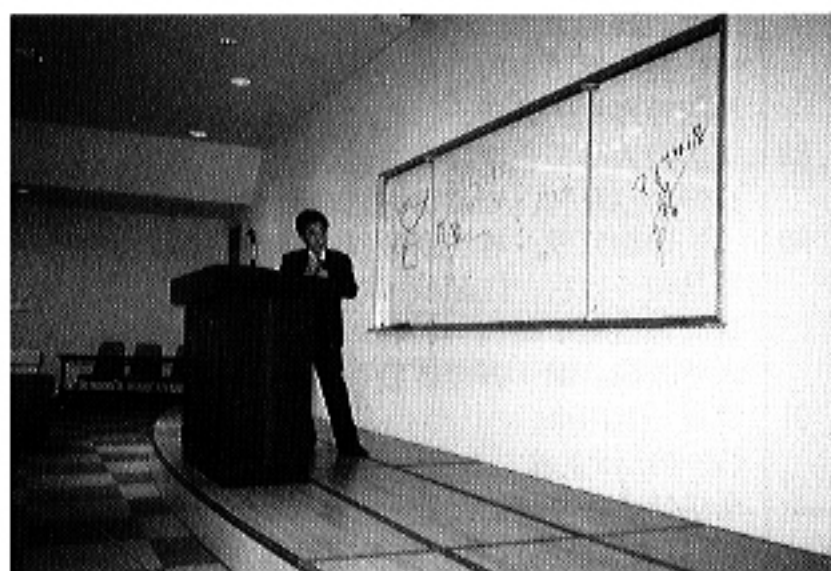
問合わせ: 室蘭市水元町27-1 室蘭工業大学 情報工学科 IWSCI'96組織委員会

電話: 0143-47-3368 Fax: 0143-47-3374

企業技術者、本学教職員の皆様のご来聴をお願いいたします。

帯広畜産大学の地域共同研究センター (仮称) 開設記念セミナー終える

3月18日(月)、帯広建設業協会4階講堂にて、今年4月、帯広畜産大学に地域共同研究センターが開設されるのを記念して、北海道のすでにある地域共同研究センターのセンター長が「地域共同研究センターの現状について」と題して開設記念セミナーが開催された。会場では、本センター長近藤徹郎氏 (写真左上)、北見工業大学地域共同研究センター長鮎田耕一氏 (写真右上)、帯広畜産大学地域共同研究センター設立準備委員会委員長美濃羊輔氏 (写真下) の3氏が講演を行った。その中で、北海道地域に対する貢献のため道内の各センター間での技術や、情報のネットワーク作りと相互の連携について話し合われた。その後、鮎田耕一教授は「最近のコンクリート工学の話題」、本センター長は「最近の海洋工学の話題」について講演をした。参加者は帯広地区の公務員、建設関連従業者並びに研究者らと共に一般聴講者含めて定員は60名のところ107名の多数の参加があった。



退任に際して

センター長 近藤俊郎

地域共同研究開発（略称、CRD）センター長としての2期4年間の任期を満了し、この3月31日付で退任いたします。この間戴いた、学外の民・産・官・学、各界の皆様のご支援とご鞭撻および学内の教職員の方々のご協力に深く感謝申し上げます。退任に際して、ニュースレターの紙面を借りて一言ご挨拶申し上げます。

下表のように、国立大学の共同研究センター制度が発足したのは1987年でありますので、今年で10年目を迎えております。CRDセンターが開設される以前、本学に「研究」と名の付く付属施設がなく、このため本学のすぐれた実用的研究も産業界に対してPR不足でした。CRDセンターが1988年に学内外の期待を担って開設されましたが、この8年間に着実に発展しております。

共同研究センターの役割は、①学内と産業界等との研究協力支援、②地域振興のための民・産・官協力事業の推進、③学内外の研究情報収集・交換、に3大別できます。この4年間、私は前センター長の浜口由和教授が敷かれた路線に沿って、運営委員会、事務局並びに杉岡一郎、高橋裕、飯島徹の3代の専任助教授を始めとするセンター教職員の熱心な協力を得て、運営に携わってまいりました。①についてはセンター開設以来順調に推移し（P4、「民間等との共同研究の推移」参照）、平成7年度には民間等との共同研究23件、受託研究、客員プロジェクト研究各5件でした。②については室蘭市内で毎年開催され、昨年で7回を数えた大学・企業等との交流会に加えて昨年度からは札幌市他でも講演会を催し、積極的に交流事業を行っております。③ではセンターとしては、客員教授と学内教官によるCRDセミナーや、刊行物としては開設当初からのセンターニュース（年刊）、研究報告（年刊）に加えNEWS LETTER（月刊）を発行して学内外に発信しております。また文部省を始め通産省、北海道、室蘭市、ホクサイテック、室蘭テクノセンターなどの学外の行政および研究支援機関などとの交流しております。こうしたセンターの活動に積極的に協力され、かつ財政面で支援する組織としてCRDセンター研究協力会が1993年に発足し、現在68社の会員がおります。また第三者的立場で、センターの業務を評価するための学外の学識経験者、諸業界のリーダーが8割を占めるCRDセンター事業推進検討会が1994年に組織され、貴重な提言等を頂戴しております。いずれの組織も全国の他の共同研究センターに先駆けて設立されたもので、有難いことであります。

今日の我が国は行政、技術、教育を始めとする社会のあらゆる下部構造が変革期にあります。それゆえ、かつてはフロンティアともてはやされた北海道が停滞し、経済や産業が期待されたように伸びておりません。しかしながら、このような時にこそ大学のもつポテンシャルが社会に正当に評価され、活用されるチャンスが多くなると思います。これからは地方のベンチャー・ビジネスが拡大する時代になりますが、室蘭周辺は立地条件に恵まれており、将来的に有望です。2年後に10周年を迎えるCRDセンターが、新センター長田中雄一教授のもとに本学においてそのインターフェースとしての機能を果たせるように、学外および学内の皆様の一層のご支援を心からお願いし、センター長退任の挨拶といたします。

CRDセンターの沿革

年	事 項		
1987	国立大学に共同研究センターが発足、熊本、神戸、富山の3大学に開設	92	センター長 近藤俊郎、ニュースレター発刊 北見工業大学地域共同研究センター新設 噴火湾談話会発足
88	第2期目として室蘭工業大学に関東以北で最初に開設（同時開設校、名大、岐阜大、東京農工大、群馬大） センター長 浜口由和、専任助教授 望月定 熱間等方加圧装置、ミマシニングセンター設置	93	専任助教授 高橋裕 南西沖地震災害学内共同研究実施 研究協力会発足、会長大庭哲哉氏 海洋工初級・国際シボ・シウム開催（室蘭）
89	第1回大学・企業技術交流会開催 センターニュース発刊、知識情報処理装置設置	94	3次元波動水槽完成 第6回国立大学共同研究センター長会議主催事業 推進検討会発足、会長林昭雄氏
90	センター建物完成、専任助教授 杉岡一郎 黒島利一技官、佐藤秋子事務官 研究報告No.1発刊 大学改組、博士課程新設	95	第1回技術研究講演会を札幌で開催 研究協力会会長代行 海老原達郎氏 専任助教授 飯島徹 第1回国際講演会（タツ教授）、札幌、苫小牧
91	学長 荒川卓 センター内LAN完成 衛星ひまわり受信装置 JCSAT通信衛星送受信装置設置	96	NOAA衛星受信装置更新 三大学共同センター（帯広会場） センター長 田中雄一（機械システム工学教授） 帯広畜産大学、北海道大学に共同研究センター開設

共同研究事業

1) 共同研究プロジェクト（客員教授プロジェクト研究）

※研究代表者

NO	区分	研究 題 目	大 学 側 研 究 組 織	共 同 研 究 員 所 属 等
1	新規	道路交通の安全性向上に関する研究	※建設システム工学科 教授 齊藤 和夫 建設システム工学科 助教授 田村 亨	(株)長大 取締役技術本部 副本部長 堀江 清一
2	新規	石油貯槽の耐震設計法に関する研究	※機械システム工学科 教授 豪丸谷政志 機械システム工学科 教授 西田 公至 機械システム工学科 助教授 小林 秀敏	甲陽建設工業(株) 構造解析部技師長 吉田 聖一
3	新規	水和反応を伴う微粉末の分散とその利用に関する研究	※情報工学科 教授 原 弘 応用化学科 教授 竹野 昇 応用化学科 教授 竹内 隆男 情報工学科 助教授 金木 則明	日鐵セメント(株) 研究開発部長 岳上 広光
4	新規	非破壊的方法によるステンレス鋼の経年劣化の診断	※材料物性工学科 教授 桑野 寿 材料物性工学科 助教授 石垣 徹	(株)日立製作所 機械研究所 主管研究員 石川 雄一
5	新規	高張力熱処理鋼棒の組織制御と耐遅れ破壊特性の改善	※材料物性工学科 教授 三澤 俊平 建設システム工学科 教授 尾崎 初 材料物性工学科 助教授 斎藤 英之 技術部技術班長 技 官 藤原 幹男	新日本製鐵(株) 技術開発本部 室蘭技術研究部長 佐藤 洋

2) 民間機関等との共同研究

※研究代表者

NO	区分	研究 題 目	大 学 側 研 究 組 織	民 間 機 関 等 研 究 組 織
1	A 継続	AFRPロッドを用いたPC部材の面衝撃構造への応用に関する研究	※建設システム工学科 教授 松岡 健一 建設システム工学科 助教授 岸 徳光	三井建設(株) 技術研究所主任研究員 三上 浩
2	A 継続	三次元不規則造波システムの実験法	※建設システム工学科 教授 近藤 徹郎 建設システム工学科 教授 藤間 聡	北日本港湾コンサルタント(株) 取締役 開発部長 梅澤 一之
3	A 継続	接地における季節変動の研究	※材料物性工学科 助教授 佐藤 忠夫 材料物性工学科 助 手 河内 邦夫	北海道電力(株) 工務部技術開発グループ 大澤 猛
4	A 継続	ロックフィルダムのリップラップ材の安定性評価について	※材料物性工学科 教授 武藤 章 材料物性工学科 助教授 後藤 龍彦 応用化学科 助教授 吉田 豊 材料物性工学科 助 手 河内 邦夫 材料物性工学科 助 手 児玉 淳一	北海道電力(株) 総合研究所土木グループ 工藤 正彦
5	B 継続	周波数(頻度)変調網目スクリーンの最適化に関する研究	機械システム工学科 教授 三品 博達	リョービ(株) グラフィックシステム本部 管理技術部 杉本 博
6	B 新規	石油精製用圧力容器鋼の高温水素浸食に関する研究	※材料物性工学科 教授 三澤 俊平 材料物性工学科 助教授 斎藤 英之	(株)日本製鋼所 技術研究所長 岩館 忠雄
7	B 継続	海中構造物への生物付着のメカニズムと防止対策	応用化学科 助教授 菊池慎太郎	北海道機械開発(株) 技術部課長代理 吉田 稔
8	B 継続	新型離岸堤の波力発電技術に関する研究	※建設システム工学科 教授 近藤 徹郎 建設システム工学科 教授 藤間 聡	戸田建設(株) 土木技術開発室 課長 梅田 宏均 主任 西牧 均
9	B 継続	振り子式波浪発電システムの高性能化	建設システム工学科 教授 近藤 徹郎	(社)寒地港湾技術研究センター 第2調査研究部長 成田 正春
10	B 継続	振り子式波浪発電の油圧システム性能向上の研究	※建設システム工学科 教授 近藤 徹郎 CRDセンター 助教授 飯島 徹	(株)植崎製作所 事業開発室課長 清野 勝博
11	B 新規	高分解能ICP質量分析装置による超微量元素分析法の開発と応用	材料物性工学科 教授 白幡 浩志	フィニッシュ・インテリジェント・インク アプリケーションリスト 生澤 英典
12	B 継続	湿式ペーパークラッチの熱流動の研究	※機械システム工学科 教授 杉山 弘 機械システム工学科 助教授 新井 隆景	(株)ダイナックス CSグループ 高倉 則雄
13	B 新規	日高・胆振海岸の海浜変形に関する研究	建設システム工学科 教授 藤間 聡	(株)アルファ水工コンサルタンツ 技術部技術課長 林 克恭
14	B 新規	室蘭市新エネルギービジョンに関する研究	※機械システム工学科 教授 林 重信 機械システム工学科 助教授 岸浪 紘機 共通講座 助教授 亀田 正人 電気電子工学科 助教授 福田 永 建設システム工学科 助 手 吉田 英樹	室蘭市 企画振興課主査 渡部 俊昭
15	B 新規	噴火湾海域総合利用推進に関する研究	※建設システム工学科 教授 齊藤 和夫 建設システム工学科 教授 藤間 聡 建設システム工学科 助教授 大坂谷吉行 建設システム工学科 助教授 田村 亨 情報工学科 助教授 丹治 辰男	室蘭市 企画振興課課長補佐 下澤 定男

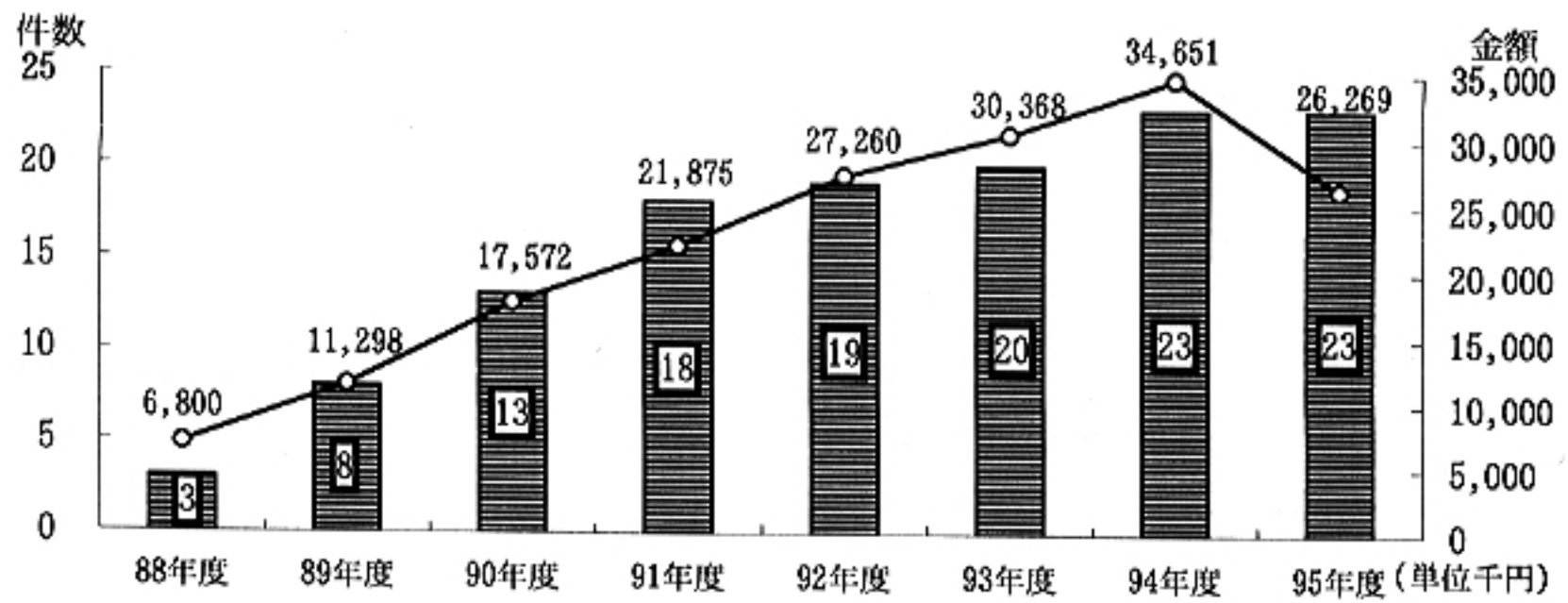
NO	区分	研究 題 目	大 学 側 研 究 組 織	民 間 機 関 等 研 究 組 織
16	B 新規	道路環境の安全性向上に関する研究	建設システム工学科 教授 齊藤 和夫	(株)長大 取締役営業本部長 堀江 清一
17	B 新規	海浜変形の地域特性と海岸侵食対策の研究	※建設システム工学科 教授 近藤 俊郎 建設システム工学科 教授 藤間 聡	北海道開発コンサルタント(株) 技師 長谷川裕史
18	B 継続	気象衛星受信システムを適用した噴火湾海面温度分布測定とその利用に関する基礎研究	※情報工学科 教授 望月 定 建設システム工学科 教授 近藤 俊郎 情報工学科 教授 杉岡 一郎 建設システム工学科 教授 藤間 聡 情報工学科 助教授 丹治 辰男 電気電子工学科 助教授 佐藤 孝紀	三洋物産(株) 札幌支店 技術室課長代理 土肥 健
19	C 新規	サーボ系のオートチューニングに関する研究	※機械システム工学科 教授 正田 弘光 機械システム工学科 講師 花島 直彦 機械システム工学科 助手 山下 光久	朋立技研(株) 取締役技術部長 杉山 豊繁
20	C 新規	溶接部相分離メカニズムの解明	材料物性工学科 教授 桑野 寿	(株)日立製作所機械研究所 主管研究員 石川 雄一
21	C 新規	社会基盤整備と地域活性化に関する研究	※建設システム工学科 教授 齊藤 和夫 建設システム工学科 助教授 田村 亨	島田建設(株) 取締役副社長 安藤 輝夫
22	C 新規	ダムの耐震性に関する研究	※建設システム工学科 教授 松岡 健一 建設システム工学科 助教授 岸 徳光 建設システム工学科 助手 小室 雅人	北海道電力(株) 総合研究所土木グループ 主査研究員 小野寺 取
23	C 新規	気象衛星雲画像データを用いた豪雨域予測に関する研究	建設システム工学科 教授 藤間 聡	(株)土木技術コンサルタント 設計部橋梁課係長 谷口 直弘

3) 民間機関等からの受託研究

※研究代表者

NO	研 究 題 目	大 学 側 研 究 組 織	民 間 機 関 等 研 究 組 織
1	横断流送風機及び熱交換器の流れに関する研究	※機械システム工学科 教授 杉山 弘 機械システム工学科 助教授 新井 隆彰	(株)東芝
2	鶴川河口特性の検討	建設システム工学科 教授 藤間 聡	(財)河川環境管理財団 北海道事務所
3	雪冷房システムの調査と開発	機械システム工学科 助教授 蛸山 政良	三機工業(株)
4	地球温暖化防止対策技術の総合評価に関する研究(民生分野における重点対策の普及に当たっての技術的評価(エコハウスの構築に関する技術的評価))	建設システム工学科 教授 窪田 英樹	環境庁 国立環境研究所
5	新材料表界面における水素ナノ反応その場解析技術の確立	材料物性工学科 教授 三澤 俊平	新エネルギー・産業技術総合開発機構

【民間等との共同研究の推移】



【運営委員会】 第12回議事録 (3月12日)
 議題1. H 8 年度共同研究プロジェクトについて
 新規5件の申請が承認された。
 議題2. H 9 年度概算要求について
 スネーク式造波装置を特別設備要求として申請
 することが承認された。

報告事項
 1. 中小企業視察・懇談会について
 2. 産学提携を推進するために
 3. 帯広においての3大学合同講演会について
 4. 釧路高等専門学校においての地域共同研究開発セン
 ター説明会について